



ラグビーワールドカップ2019大阪・花園開催推進委員会

2019年度事業計画について

2019. 3. 20

2019年度 事業実施方針

I RWC2019大会準備主要スケジュール

II 大会機運の醸成活動

1. 大会開催前プロモーション
2. 大会開催時プロモーション

III 大会運営活動

1. 交通輸送実施業務
2. 警備業務
3. 大会用仮施設等設置に係る設計・施工の実施
4. 大会ボランティアの運営

IV 検討部会運営

2019年度 事業実施方針

本年9月のRWC2019日本大会 大阪・花園開催に向け、これまで以上に開催周知や機運醸成活動を実施し、この世界的なスポーツイベントを府域全体で盛り上げる。また、安全・確実な大会運営（仮設会場施設の設置、観客輸送、会場周辺の警備、公式ボランティア活動等）を行うため、組織委員会と連携して取り組み、大会を成功に導く。

重点項目

(1) 大会機運の醸成活動

①大会開催前プロモーション

- ・府内での大会への期待感を高めるため、主要ターミナル駅・空港などへの広告掲出・装飾、TVメディアなどを通じた大会開催CM、大会開催100日前（6/12）告知イベント、日本代表戦（8/3）でのPR、府内キャラバンPRなど

②大会開催時プロモーション

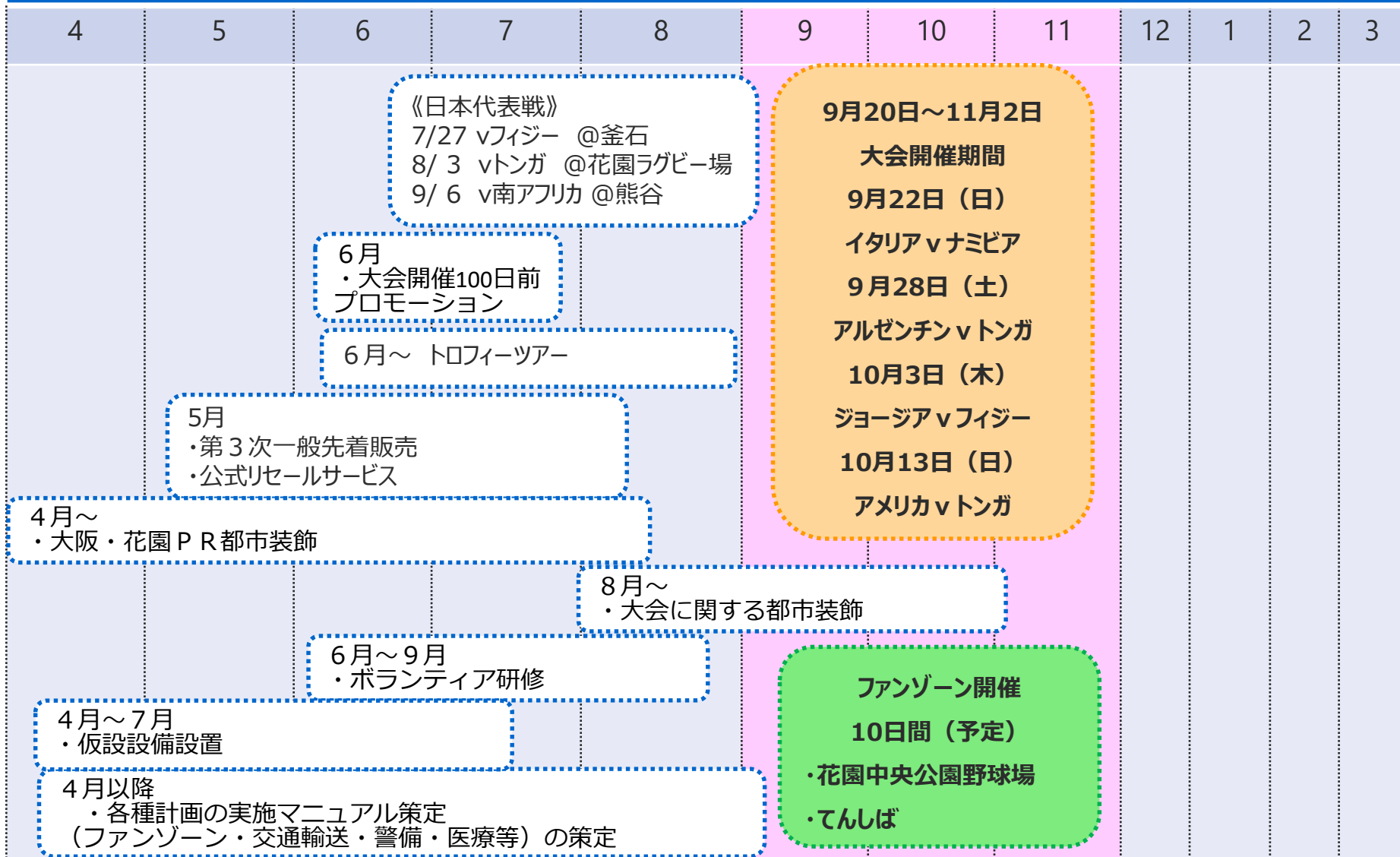
- ・大会と開催都市に触れる機会づくりのため、ファンゾーン運営（お祭り感覚で楽しむ無料応援ゾーン）を中心に大会情報や開催都市情報を発信、メディア向けの都市情報提供プログラム（PR映像提供、ツアー実施）の展開など

(2) 大会運営活動

- ・観客輸送、会場周辺の交通規制、警備に関する実施計画より運営マニュアルを策定、組織委員会などの関係先と調整し、円滑かつ安全に大会運営を実施
- ・仮設会場施設（仮設席、国際中継ICTや電源確保、臨時入退路など）の設置工事
- ・組織委員会と連携して、大会公式ボランティア（大阪・花園：約900人）に対し、開催都市情報・魅力等の研修、並びに会場周辺等でのボランティア活動の運営

I RWC2019大会準備主要スケジュール

2019年度



Ⅱ 大会機運の醸成活動

1. 大会開催前プロモーション

(1) イベント事業

◆事例

- ・100日前プロモーションの実施（6月実施予定）
- ・トロフィーツアーの開催
- ・ラグビー日本代表戦を活用したPRイベント（8月実施予定）
- ・主要ターミナル等での大会開催プロモーション



(イベントイメージ)

《参画団体協力内容》
推進委員会参画団体等において、
ポスター等の掲出先の提供。

(2) 広報事業

◆事例

- ・都市装飾の実施
 - ①大会開催に向けた開催都市独自装飾
 - ②大会期間中都市装飾（全12開催都市共通事業）
期間：8月下旬～11月まで
- ・メディアを活用した大会PRの実施
 - ①大会周知PR映像制作
 - ②海外メディア向けプロモーション映像制作



(都市装飾イメージ@2015年イングランド大会)

《参画団体協力内容》
大会本番に向けて、府内全域の機運
醸成を図るため、推進委員会参画団
体のイベント等で大会周知やチラシ、
PRグッズ等の配布の実施。

※ プロモーション事業について、公募型プロポーザル方式による企画内容の提案を受け実施。

(3) その他の取組み

○RWC2019大阪・花園開催ホームページの充実

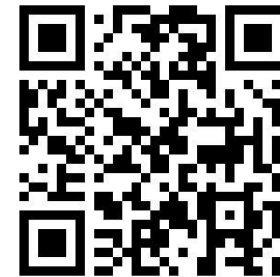
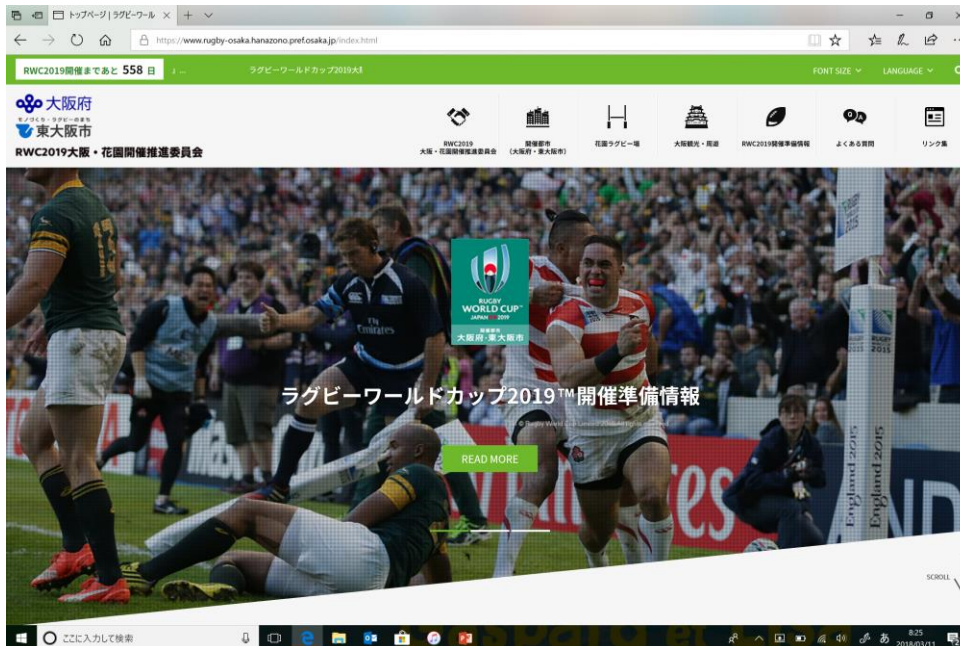
【サイト名】RWC2019大阪・花園開催ホームページ

URL : <https://www.rugby-osaka.hanazono.pref.osaka.jp>

【掲載内容】RWC2019開催準備情報、花園ラグビー場情報、開催都市情報、大阪観光・周遊情報、RWC2019推進委員会情報

【多言語対応】英語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、イタリア語、ジョージア語

- 【取組内容】
- ・大会関連情報の掲載。
 - ・災害時情報など、速やかな対応。
 - ・大会開催期間中の府内イベント等を取りまとめて紹介。
 - ・サイト周知のため、PRグッズにQRコードを掲載。



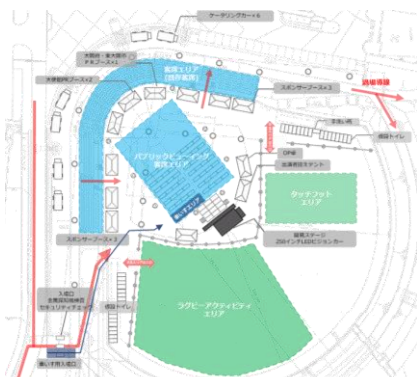
◀「RWC2019大阪・花園開催HP」QRコード

《参画団体協力内容》
本サイトの周知協力。
また、大会時の府内イベント等や推進委員会参画団体の取組について、情報共有の協力。

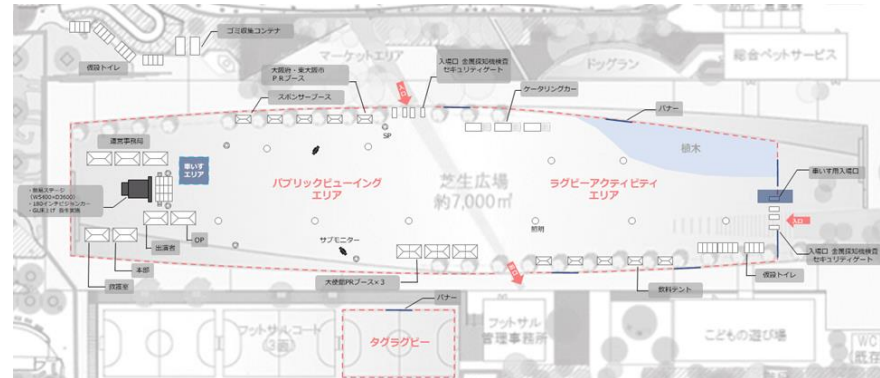
2. 大会開催時プロモーション

(1) ファンゾーン設置・運営

RWC2019日本大会開催期間中（花園開催試合、日本代表戦等10日間開催予定）、大型スクリーンによるパブリックビューイングやラグビー体験、開催都市（大阪府・東大阪市）の魅力などを発信する「ファンゾーン」を設置する。



（花園中央公園野球場イメージ）



（てんしばイメージ）

(2) 試合前エンターテインメントプログラムの実施

RWC2019日本大会 大阪・花園開催で行われる試合開始前の時間を活用し、ラグビーだけでなく観戦者の思い出作りとともに、試合前の盛り上げ機運を演出するため、会場内でのエンターテインメントを行う。

(3) メディア向けの都市情報提供プログラムの実施

RWC2019日本大会開催に伴い来阪した海外（国内）メディア関係者に対し、開催都市（大阪府・東大阪市）が持つ様々な魅力（文化・歴史・観光など）を伝え、大会報道に合わせた開催都市の見所などを提供する。

※ プロモーション事業について、公募型プロポーザル方式による企画内容の提案を受け実施。

1. 交通輸送実施業務

会場までの来場者の輸送を限られた時間内で安全・確実かつ円滑に行うため、2018年度に策定した「交通輸送実施計画」に基づき、「交通輸送実施マニュアル」の策定し、大会時交通・輸送に取り組む。

輸送手段ごとの誘導、シャトルバス運行(会場～吉田駅間)、各主要駅における案内デスク設置のほか、安全対策として交通総量を抑制するため関係機関にも協力を頂き、円滑な観客輸送をサポートする。

実施マニュアルの作成

テストイベントの開催

大会時
観客輸送サポート



(大会時イメージ)

2. 警備業務

2018年度に策定した「警備計画」に基づき、会場周辺（最寄駅から入場ゲート）における来場者や近隣住民の安全を確保するため、警備員を配置するとともに、自然災害やテロなどの緊急時も想定し迅速な対応を行うため、関係機関とも連携をすすめ、警備・救護業務を実施する。



(警備イメージ@2015年イングランド大会)

3. 大会用仮設施設等設置に係る設計・施工の実施

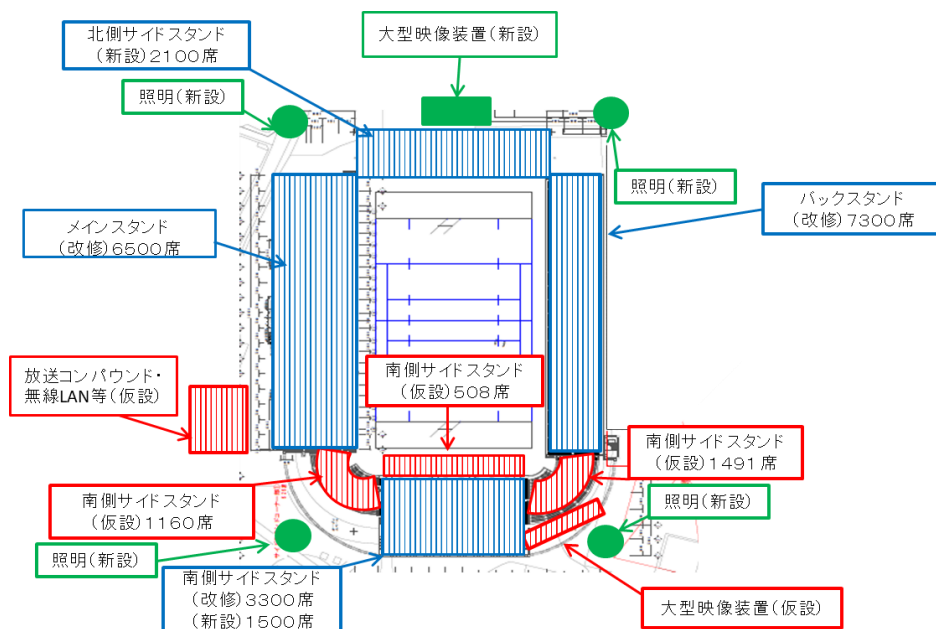
RWC開催に向けた会場仕様とするため、2018年度より観客席や大型映像装置などの仮設施設等設置にかかる設計を行っている。2019年度はこれらの施工準備・施工を行い、大会実施に備える。

- 仮設施設発注方式 設計及び施工の一括発注方式（デザイン・ビルド方式）
- 主な工事内容
 - ・ 仮設観客席設置（約3,100席程度）・ 仮設大型映像装置（630インチ）・ プレハブ
 - ・ 仮設記者席、コメンタリー席（約170席程度）・ 防犯カメラ、仮設便所・ その他（駐車場舗装等）
- スケジュール

2018年10月	設計業務（着手済み）
2019年5月	仮設施工開始
2019年7月	仮設整備完了



（仮設大型映像装置の設置イメージ）



（仮設席イメージ）

4. 大会ボランティアの運営

- ・ 2018年4月にボランティア募集が開始され、全国で約1万人を募集したところ、3万8千人を超える応募。大阪では約900人のボランティアを採用。
- ・ 大会ボランティアは、RWC2019組織委員会が管理する会場内と、開催都市が管理する会場周辺、主要ターミナル、ファンゾーン等において、観客サービスサポートや案内サポート等を行う。
- ・ 府内で活躍していただく大会ボランティアに、観光やおもてなし、人権等に関して研修を行う。

◆ボランティア活動スケジュール

オリエンテーション

Eラーニング

役割別研修

ボランティア活動

2019年2月2日実施

2019年2月～

2019年6月以降

大会期間



(オリエンテーション/咲洲ホール)



(ボランティア@2015年イングランド大会)

IV 検討部会運営

大会本番に向け、必要に応じて協議・調整等を行い、各検討部会において検討を行う。

① 交通輸送検討部会

- 目的：大会開催期間中、多数の観戦者、大会関係者に対して、安全、確実、快適な交通手段を提供するため、検討を行う。
- 主な検討内容：交通輸送実施手法の検討及び意見交換

② 観光おもてなし検討部会

- 目的：国内外から訪れる観戦者に向けて、大阪の魅力的な地域資源（観光・食・体験等）をアピールし、来訪意欲を喚起する方法等について検討を行う。
- 主な検討内容：大会開催時の大阪府内イベント情報の掲載、おもてなしプログラムの作成。

③ レガシー検討部会

- 目的：大会を契機に高まるラグビーへの関心・理解の一層の拡大、スタジアムの利活用促進、地域活性化等の有形・無形の大会レガシー効果を最大限に発揮し、一過性でない継続可能なものとするため、検討を行う。
- 主な検討内容：大会レガシー構築に向けた具体的取組の推進

